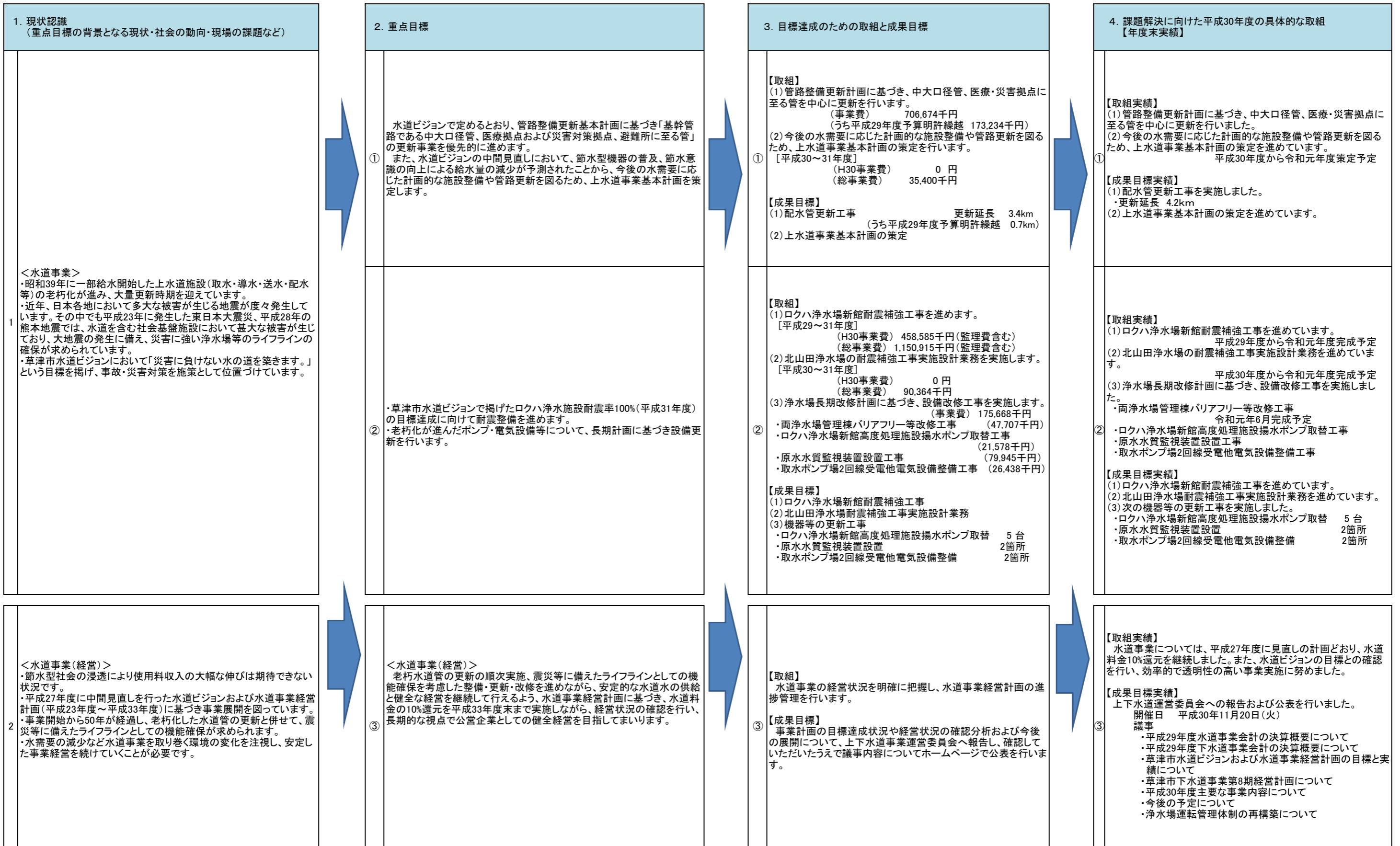


# 《平成30年度 上下水道部 組織目標の達成状況》

◆目標管理者  
部長 辻川 明宏

**重** 平成30年度予算重点施策に関連する項目には、「4.課題解決に向けた平成30年度の具体的な取組」欄に、左の記号を記載しています。



**1. 現状認識**  
(重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)

3

<下水道事業(長寿命化、耐震化、農集排接続)>  
 ・公共下水道の事業着手から40年以上が経過し、公共下水道施設の老朽化が懸念されます。  
 ・下水道施設の老朽化により維持管理等にかかる費用は年々増大し、将来の下水道経営に大きな影響を及ぼしかねない状況にあります。  
 ・東日本大震災で得た教訓をもとに、下水道施設の耐震化の市民意識が高まっています。  
 ・大震災の発生に備え、災害に強いライフラインの確保が求められています。  
 ・市内6地区の農業集落排水施設、処理場が供用開始後21年から29年が経過し、施設の老朽化により維持管理費が増加しています。

**2. 重点目標**

④

下水道施設ストックは膨大な量となることから、経年変化による計画的な老朽化対策が必要となっています。下水道長寿命化支援制度を活用した下水道長寿命化計画に基づき、ライフサイクルコストの低減を図ります。また、上記支援制度から、新たに創設された下水道ストックマネジメント支援制度へ移行しながら、ストックマネジメント計画に基づき調査・点検を進めます。

下水道長寿命化計画 平成25年度～平成31年度  
 下水道ストックマネジメント計画 平成28年度～平成31年度

⑤

下水道耐震指針に基づき、大震災など大規模災害に強い下水道システムの構築を目指し、下水道施設の耐震対策を進めます。

下水道総合地震対策計画 平成25年度～平成34年度

⑥

処理場施設の老朽化等への対応や効率的な経営を行うため、市内6地区の農業集落排水の公共下水道への接続について、計画どおりの事業実施に努めます。

農業集落排水公共下水道接続事業 平成25年度～平成31年度  
 (平成32年度中接続予定)

**3. 目標達成のための取組と成果目標**

④

【取組】  
 (1)公共下水道長寿命化計画に基づき、マンホール蓋の交換による長寿命化対策工事を行います。  
 (事業費) 150,350千円  
 (2)ストックマネジメント計画に基づき、調査点検を行います。  
 (事業費) 10,000千円

【成果目標】  
 (1)下水道蓋長寿命化工事 蓋交換 529箇所  
 (2)下水道施設カメラ調査業務 調査延長 8,500m

⑤

【取組】  
 下水道施設の防災対策および減災対策を行うため、過年度の耐震診断により、対策が必要な箇所の耐震工事の詳細設計を実施します。  
 (事業費) 9,000千円

【成果目標】  
 ・下水道総合地震対策実施設計業務

⑥

【取組】  
 公共下水道への接続に向けた年次計画に基づいた管渠敷設工事を行います。  
 (事業費) 938,686千円  
 (うち平成29年度予算明許繰越 535,186千円)

【成果目標】  
 農業集落排水公共下水道接続工事 整備延長 2.82km  
 (うち平成29年度予算明許繰越 1.11km)

**4. 課題解決に向けた平成30年度の具体的な取組**  
【年度末実績】

④

【取組実績】  
 (1)公共下水道長寿命化計画に基づき、マンホール蓋の交換による長寿命化対策工事を行いました。  
 (2)下水道ストックマネジメント計画に基づき、カメラ調査等を実施しました。

【成果目標実績】  
 (1)下水道蓋長寿命化工事を実施しました。  
 ・蓋交換 533箇所  
 (2)下水道施設カメラ調査業務を行いました。  
 ・調査延長 8,200m

⑤

【取組実績】  
 下水道施設の防災対策および減災対策を行うため、今後の対策が必要な箇所を確認するための耐震診断業務を実施しました。

【成果目標実績】  
 下水道総合地震対策設計業務を実施しました。

⑥

【取組実績】  
 公共下水道への接続に向けた年次計画に基づき、管渠敷設工事を行いました。

【成果目標実績】  
 農業集落排水公共下水道接続工事を実施しました。  
 ・整備延長 2.5 km  
 (うち平成29年度予算明許繰越 1.1km)

4

<下水道事業(経営)>  
 ・事業着手から40年以上が経過し、普及もほぼ完了し、今後は老朽化施設の更新や効率的な維持管理に主眼をおいた事業運営が必要となっています。  
 ・草津市下水道事業第8期経営計画(平成29年度から平成33年度)に基づき事業展開を図っています。  
 ・下水道事業は利用者のみならずからの下水道使用料のほか、総務省の繰出基準の通知に基づき、環境保全の観点の大きい経費については一般会計からの繰入金により経営を行っています。  
 ・使用料収入はほぼ横ばい傾向となっていますが、下水道事業を取り巻く環境の変化に注視しながら、引き続き事業の推進と安定的な経営を行うことが必要です。

⑦

<下水道事業(経営)>  
 ・老朽化が進む施設の点検調査および耐震診断を実施し、施設の状況を把握した上で、老朽化と地震への対策を行うと同時に、集中して実施してきた初期投資の更新時期の平準化を目指します。  
 ・また、企業債残高は200億円を上回り、資金面では厳しい状況が続きますが、順調に減少する計画で進んでおり、下水道事業第8期経営計画の進捗確認により、長期的な視点で公営企業としての健全経営を目指してまいります。

⑦

【取組】  
 下水道事業の経営状況を明確に把握し、下水道事業経営計画の進捗管理を行います。

【成果目標】  
 事業計画の目標達成状況や経営状況の確認分析および今後の展開について、上下水道事業運営委員会へ報告し、確認していただいたうえで議事内容についてホームページで公表を行います。

⑦

【取組実績】  
 下水道事業では、第8期経営計画での計画通り、平成29年度より、一般会計からの繰出金の方針を継続しつつ、「分流式下水道等に要する経費」についての繰出金部分を、一般会計からの借入金に変更して実施しました。また、経営状況の把握を行い、効率的な事業運営と経営基盤の強化に取り組みました。

【成果目標実績】  
 上下水道運営委員会への報告および公表を行いました。  
 開催日 平成30年11月20日(火)  
 議事  
 ・平成29年度水道事業会計の決算概要について  
 ・平成29年度下水道事業会計の決算概要について  
 ・草津市水道ビジョンおよび水道事業経営計画の目標と実績について  
 ・草津市下水道事業第8期経営計画について  
 ・平成30年度主要な事業内容について  
 ・今後の予定について  
 ・浄水場運転管理体制の再構築について